

事務事業評価シート（1/2）

541 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0181
 評価年度 令和 5年度
 所属 1121
 事務事業番号 01058

進捗区分 評価完了
 環境部環境政策課
 環境保全市民運動推進事業

所属長名 小高 弥須夫
 記入者 荒木 幹昌

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	001	琵琶湖を始めとする水環境の保全・再生				
事務事業	001	環境保全市民運動推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市環境基本条例				
事業概要	(事業概要) 「琵琶湖を美しくする運動実践本部」が実施する琵琶湖市民清掃の支援、河川愛護団体に対する河川清掃用具の配布や情報提供等の活動、地域のヨシ保全事業の支援など、市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政との協働の取り組みが求められている。また、コミュニティの希薄化や高齢化などにより、各種市民活動の参加者数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 河川愛護事業については令和5年度より登録制に移行し、各団体の高齢化などの課題に対して活動を支援できるよう、大津土木事務所職員を講師にした研修会を実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
目的(何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃等の河川愛護活動、及び各地域のヨシ保全団体の活動を支援することで
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,338	31,629	31,806	31,018	31,018	31,028	31,028
事業費	14,819	14,993	17,120	16,332	16,332	16,342	16,342
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,414	6,348	6,607	6,570	6,570	6,570	6,570
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	611	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,794	8,645	10,513	9,762	9,762	9,772	9,772
人件費計	15,519	16,636	14,686	14,686	14,686	14,686	14,686
事務・技術(人)	1.93	2.10	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

542 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0181
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-01-00	環境保全市民運動推進費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		123.00	122.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)河川清掃実施回数	回	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		853.00	859.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)琵琶湖市民清掃参加人数	人	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00
		51,190.00	52,587.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川清掃等参加者数	人	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		13,310.00	13,658.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市民・事業者・行政の三者協働の観点から有意義である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	公共地の環境保全が図られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率的に環境保全が図られている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	行政の支援は各団体の活動に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	各市民活動の事業実施回数については、目標を上回ったが、参加者数については目標に対して未達となっており、コロナ禍において縮小していた市民活動に回復傾向が見られるもののピーク時の参加者数からは減少している状況にある。また、昨今の温暖化による熱中症患者の増加など市民活動を取り巻く環境も変化しており、これらの状況に対応し市民活動を活発化していくためには、実施主体も含め関係者と課題を共有し、在り方について議論していく必要がある。 河川愛護活動についても同様に高齢化等に伴う担い手不足が懸念されており、活動への参加者を増やすための取り組みをより一層推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民清掃、河川愛護活動などを通して、市民が主体的に環境保全活動に取り組まれることは、地域の環境を保全する意識の醸成に加えて、地域コミュニティの活性化に資することが期待される。なかでも市民清掃は、さらに持続可能性を高めながら継続できるよう、これまでに把握している課題と地域の実情を踏まえながら、改善提案について集約を行い、活動に魅力を感じた地域市民が支える事業への進展について、実践本部とも目標を共有し、最適化に取り組んでいく。		

事務事業評価シート（1/2）

544 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0182
 評価年度 令和 5年度
 所属 1121
 事務事業番号 01150

進捗区分 評価完了
 環境部環境政策課
 環境企画推進事業

所属長名 小高 弥須夫
 記入者 小野 顕大

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	031	地球温暖化対策の推進				
取組の方向性	002	再生可能エネルギー等の利活用の推進				
事務事業	001	環境企画推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例					
事業概要	(事業概要) 大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取組を進める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国内の脱炭素社会への移行に向けた機運が高まる中で、国だけでなく地方自治体にも、省エネや地域の再エネを活用した施策等の加速化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 大津市地球温暖化防止活動推進センターに委託して実施することにより温暖化対策に関して効率的・効果的な普及啓発に努めた。令和5年度は、市有施設全体のLED化を検討するとともに、庁舎新館においてESCO事業によるLED化事業を実施した。また、令和4年度に公用車として導入したEV自動車2台の運用と、同じく令和4年度に創設した省エネ家電購入補助金事業を継続実施した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	大津市環境基本計画（第3次）に掲げる取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の支援を行うとともに、市が率先して取組を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	55,247	112,626	55,750	504,383	538,633	538,633	721,320
事業費	32,396	73,140	20,630	469,263	503,513	503,513	686,200
国庫支出金	10,701	18,266	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	29,000	0	398,800	429,700	429,700	594,100
その他	1,588	1,098	1,340	420	420	420	420
一般財源	20,107	24,776	19,290	70,043	73,393	73,393	91,680
人件費計	22,851	39,486	35,120	35,120	35,120	35,120	35,120
事務・技術(人)	2.87	4.40	3.58	3.58	3.58	3.58	3.58
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用(人)	0.15	1.08	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

545 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0182
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01150 環境企画推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)省エネルギー等 啓発回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)温室効果ガス削 減量（2013年度比）	%	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		41.67	31.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)エコライフデー の参加世帯数（累計）	世帯	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		103.00	1,082.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法により地方公共団体の責務とされているため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	環境基本計画の目標達成に向けて着実に成果が上がっているため		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業の多くを委託により遂行し、効果も表れているため		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	国、県の動向を注視しながら、大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市有施設の照明設備のLED化を始めとした取組を市が率先して実行していくとともに、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携した市民・事業者への普及啓発の取組の更なる拡大を図るなど、同計画の目標の達成及び2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を着実に推進していく。なお、定量評価のうちエコライフデー参加世帯数については、令和4年度に「おおつエコライフチャレンジ」のサイトを立ち上げたが、令和5年度までの参加世帯数累計は1,000件程度にとどまっている。引き続き、同サイトの活用を促進し効果的な普及啓発に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	「大津市環境基本計画（第3次）」に掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現を見据えて、引き続き地域脱炭素の推進に取り組むとともに、市役所自らが市有施設の照明設備のLED化や省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用等を推進するとともに、庁内の推進体制の充実と行政活動におけるグリーントランスフォーメーションへの進展を目指す。また、令和6年度中に開始を予定している「おおつエコライフチャレンジ」の参加者へのOTSU POINT付与の取組みにより、参加者数増が見込まれることを踏まえ、事業のさらなる推進と効果的な活用の周知を強化していく。		

事務事業評価シート（1/2）

547 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0183
評価年度 令和 5年度
所属 1121
事務事業番号 01190

進捗区分 評価完了
環境部環境政策課
環境人育成事業

所属長名 小高 弥須夫
記入者 荒木 幹昌

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	002	環境人育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	環境基本法、環境教育等促進法					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然家族事業 ・大津こども環境探偵団事業 ・指導者研修事業 					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>これまでの本市の環境保全活動を率先してきた市民の高齢化や、若年世帯の増加、転入者の増加に比し、保全活動を行う市民の減少等が新たな課題となりつつある。一方、最新のアンケート調査では、琵琶湖をはじめ自然環境に魅力を感じる市民が多く、今後これら市民を「環境人」として育成し、課題に対応していく必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和5年度は教育現場である幼稚園の園庭において指導者研修会を実施し、研修で得た技術を直ちに実践することを可能にした。自然体験を行う上で安全性は重要な要素であるため、全国的な熊の被害が発生する中、大津市内山間部においても目撃情報があったことから大津こども環境探偵団の秋の活動を中止した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自然家族事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学3年生～中学3年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に					
目的(何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として					
手段(どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（自然家族事業、大津こども環境探偵団事業、指導者研修事業）により					
成果(どのような状態にするのか)	「環境人」を育成し、環境問題に関心がある人が多い社会をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有して積極的に環境行動を実践する人					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,196	15,487	15,702	15,695	15,695	15,695	15,695
事業費	811	801	1,016	1,009	1,009	1,009	1,009
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	500	500	500	500	500	500
一般財源	811	301	516	509	509	509	509
人件費計	11,385	14,686	14,686	14,686	14,686	14,686	14,686
事務・技術(人)	1.40	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

548 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0183
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01190 環境人育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 自然家族事業 開催回数	回	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		7.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 大津こども環 境探偵団環境学習回数	回数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 自然家族事業 参加者数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	
		221.00	259.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 大津こども環 境探偵団卒団生数	人	2,082.00	2,122.00	2,162.00	2,202.00	2,242.00	2,242.00	2,242.00	
		2,087.00	2,137.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	環境教育等促進法に基づき当該事業は妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業アンケートの結果から環境に関心を持つために有意義である		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関心を持たせられるように内容を都度改変している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	環境に配慮、関心を持つことができる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度に設置した大津市環境人育成推進懇話会の学識経験者等からの意見を取り入れ、指導者研修会の研修場を教育現場である幼稚園で行うなど、従前よりも参加者が即実践できる事業を進めることができた。今後も各事業について学識関係者の意見や、社会状況等を鑑み事業を遂行する。また、小中学生を対象とした大津こども環境探偵団事業については、指導者が不足傾向にある中、参加する子どもの低学年化も進んでいる。今後、同懇話会や関係者と課題を共有し、議論していくことが必要と考えている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業が本市の環境保全活動の基盤を支えてきたことを踏まえつつ、大津市環境人育成推進懇話会を活用した学識経験者等からの意見を積極的に取り入れ、さらなる事業効果が得られるよう、教育活動としての環境教育も見据えつつ、事業内容の改善に取り組む。		

事務事業評価シート（1/2）

550 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0184
 評価年度 令和 5年度
 所属 1703
 事務事業番号 01023

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 し尿処理事業推進事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 星田 真文

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	004	し尿処理事業推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。 また、16箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) し尿・浄化槽汚泥は、下水道の普及に伴い収集量が減少し続けている。 (見直しや改善等の経過) 本市のし尿収集運搬事業は、一部地域を除いて許可制としてきたが、安定的にし尿収集運搬事業を継続するため、令和4年1月からのし尿処理施設の再編に合わせ全面委託化した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	147,469	146,192	155,867	165,162	165,162	165,162	165,162
事業費	131,415	130,004	139,423	148,718	148,718	148,718	148,718
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	64,067	59,357	63,598	78,892	78,892	78,892	78,892
一般財源	67,348	70,647	75,825	69,826	69,826	69,826	69,826
人件費計	16,054	16,188	16,444	16,444	16,444	16,444	16,444
事務・技術(人)	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.72	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

551 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0184
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) し尿くみ取り・浄化槽人口	人	10,738.00	9,863.00	9,398.00	8,939.00	8,491.00	8,059.00	7,630.00
		10,792.00	10,660.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 公衆便所年間清掃回数	回/年	8,551.00	8,577.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00	8,577.00	8,551.00
		8,578.00	8,600.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) し尿・浄化槽汚泥処理量	kg/日	30.71	29.00	27.00	26.00	25.00	24.00	23.70
		31.70	30.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 公衆便所利用回数	回/日	3,842.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00
		4,125.00	4,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	し尿及び浄化槽汚泥の処理責任は市町村にあるもの		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	廃棄物の適正な処理に努めることで生活環境保全につながっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業に精通した専門業者への委託事業として実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民の生活環境保全に関連が深く、目標達成に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	し尿収集運搬事業の委託化により円滑かつ安定的に事業の運営ができています。今後も計画通りに安定した事業運営を実施していく。 また、令和7年度からのし尿汲み取り手数料の改定について検討をすすめる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿くみ取り及び浄化槽汚泥関係人口の年次目標値を下回ることはできなかったが、前年度比較では減少させることができ、これに伴い、し尿収集運搬経費は対前年度比で減少させることができ、費用の効率化が図れた。 上昇する人件費や燃料費等に伴う財政負担が課題となる一方で、関係人口・世帯の減少が鈍いことを踏まえて、据え置きが続いてきたし尿等くみ取り手数料の改定を検討し、受益者からの応分の負担を求め、財政負担の適正化に取り組んでいく。		

事務事業評価シート（1/2）

553 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0185
 評価年度 令和 5年度
 所属 1703
 事務事業番号 01153

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 3 R推進事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 白井 智浩

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	001	3 R推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等					

事業概要	(事業概要) 市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸及び環境美化センターにおける体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3 R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。					
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3 Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和3年度から引き続き、家庭ごみの量は減少傾向にある。また、令和5年度から環境美化センターとリサイクルセンター木戸の2拠点で3 R推進の啓発に取り組んでいる。なお、リサイクルセンター木戸は、令和5年8月から指定管理者制度に移行し、管理運営している。					
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして					
目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3 Rを推進する循環型社会への転換を図るため					
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、環境美化センター及びリサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより					
成果(どのような状態にするのか)	市内における3 R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	118,505	110,483	148,568	142,785	197,935	142,785	142,785
事業費	69,983	74,066	118,292	97,767	152,917	97,767	97,767
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	62	228	283	283	283	283	283
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	27,531	31,389	39,720	12,870	12,870	12,870	12,870
一般財源	42,390	42,449	78,289	84,614	139,764	84,614	84,614
人件費計	48,522	36,417	30,276	45,018	45,018	45,018	45,018
事務・技術(人)	3.63	3.16	2.54	4.43	4.43	4.43	4.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.68	3.09	3.27	3.27	3.27	3.27	3.27
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

554 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0185
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01153 3 R 推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	3 R 推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	
		611.00	602.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	
		138.00	153.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 生ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	59,772.00	59,634.00	59,233.00	58,977.00	58,696.00	58,600.00	58,600.00	
		56,727.53	54,229.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	前年を上回る目標達成率となった。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	各種の啓発が、ごみの減量に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	家庭系ごみ量が増加していたが、令和3年度から引き続き、3年連続の減少となった。計画における目標値は、達成されているが、集団資源回収の普及促進を図る等、引き続きごみ減量を啓発していく必要がある。プラスチックごみに関しては、令和6年10月から容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括で回収するモデル事業を実施し、組成調査等を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	生ごみ処理機等活用事業補助金の申請件数が増加する一方で、燃やせるごみ量は減少する傾向にある。生ごみ処理機等活用補助をはじめとする制度やこれらの周知の取り組みが、ごみの減量や資源再利用に対する市民意識の醸成と燃やせるごみ量の減量化に効果をもたらしているものと評価している。プラスチック資源循環促進法をめぐる国内での分別収集状況を把握しつつ、令和8年度の一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを見据えて、ごみの減量と循環経済の進展、市の財政負担の適正化に有効な対策を検討し、可能なものから着手していく必要がある。また、対策・取組みの推進上、欠かせない市民・事業者の理解を促すため、関係団体と緊密に連携していく。		

事務事業評価シート（1/2）

556 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0186
 評価年度 令和 5年度
 所属 1703
 事務事業番号 01154

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 廃棄物適正処理事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 山本 英行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	002	廃棄物適正処理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・規則					
事業概要	(事業概要) 家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排出される一般廃棄物の適正な処理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 家庭系ごみ量については昨年に引き続き減少しており、事業系ごみ量については微増している。全体のごみ量は減少傾向にある。また、プラスチック資源循環促進法などの廃棄物を取り巻く法制度が充実・変化している。(見直しや改善等の経過) これまでから、ごみの分別収集の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民から排出される家庭ごみや事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	家庭ごみ収集運搬委託及び事業系一般廃棄物収集運搬許可業者による収集運搬を通して、廃棄物の適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,318,073	1,343,824	1,325,663	1,401,001	1,411,001	1,401,001	1,401,001
事業費	1,266,326	1,283,456	1,269,775	1,344,255	1,354,255	1,344,255	1,344,255
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	77,207	61,921	63,871	61,246	61,246	61,246	61,246
一般財源	1,189,119	1,221,535	1,205,904	1,283,009	1,293,009	1,283,009	1,283,009
人件費計	51,747	60,368	55,888	56,746	56,746	56,746	56,746
事務・技術(人)	6.05	4.89	5.04	5.15	5.15	5.15	5.15
技能労務(人)	0.00	2.70	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.47	1.63	2.03	2.03	2.03	2.03	2.03
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

557 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0186
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 定期収集日	日	310.00	310.00	283.00	257.00	257.00	257.00	257.00
		310.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 展開調査	回	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		3.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 取り漏れ等の苦情件数	件数	0.00	55.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業系ごみ量(臨時収集除く)	件数	22,119.00	21,631.00	21,061.00	20,513.00	20,002.00	19,508.00	19,508.00
		22,628.00	22,027.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、法に規定する基準に則した処理及び委託を実施する。また、家庭ごみの土曜日収集廃止に向けて丁寧な市民周知を行っていく。事業系ごみについてはマニフェスト制度の見直しも視野に入れながら、処理施設での展開調査の実施等により不適正排出の防止を図り、ごみ量の減量に努める。なお、展開調査の実施回数を増やすことにより事業系ごみ量の減少に繋げることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	家庭廃棄物の収集運搬業務をめぐる課題は目標値を下回り、成果が得られたものと評価している。一方で、地域の事業活動に伴い生じる廃棄物が増加し、経済活動の進展が影響しているものと認識しつつ、本市ごみ処理施設への搬入を通じた温室効果ガスの間接削減効果に対する評価も加え必要な対策を検討する。現在の業務水準を維持しつつ必要な従事員の確保と体制の維持を図るため、今年10月より導入する家庭廃棄物の週5日収集への移行に向けて、市民周知等、移行期の混乱防止対策を講じる必要がある。また、収集車両や処理施設における火災原因の一つとされてきた小型充電式電池については、業界団体や小売事業者への要請を強める一方で、びんの収集の際に別袋での回収を緊急に開始し、効果を見極めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

559 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0187
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

所属長名 川本 孝是
 記入者 新田 紳一郎

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032 循環型社会形成の推進		
取組の方向性	003 不法投棄防止の推進		
事務事業	001 廃棄物不適正処理対策事業		
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
事業概要	(事業概要) 監視パトロールの実施や警告看板等の設置により不法投棄等の未然防止を図るとともに、不法投棄等のおそれのある行為者に対し必要な指導を行う。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 家電、食品、建設など個別物品のリサイクル法が制定され、市民にも廃棄物の減量化や資源化に関する意識が定着してきたことで、人の目が届くようなまちなかや住宅地における不法投棄事案の発生は減少しつつある。しかし、人通りの少ない道路や山間部においては、依然として建築廃材や家庭ごみの不法投棄が多く発生している。 (見直しや改善等の経過) 過去の不法投棄事案を集計し、その結果に基づき定期的に監視体制の見直し、警告看板の設置を行っている。また、十分に行政の監視が及ばない地域については、地域住民（不法投棄等監視員）の協力のもと未然防止を図っている。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	事業所又は家庭から排出される廃棄物について、
目的(何のために)	生活環境を清潔に保つために、
手段(どのようなやり方で)	適正に処理されるよう監視し、啓発を行うとともに、不適切な処理が確認された場合はその行為者に対し是正を求めることにより、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	77,027	61,906	62,075	61,708	61,708	61,708	61,708
事業費	6,842	6,342	7,561	7,854	7,854	7,854	7,854
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	24	18	1,648	0	0	0	0
一般財源	4,968	4,474	4,063	6,004	6,004	6,004	6,004
人件費計	70,185	55,564	54,514	53,854	53,854	53,854	53,854
事務・技術(人)	4.30	3.70	4.15	3.70	3.70	3.70	3.70
技能労務(人)	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
再任用(人)	2.00	1.80	1.00	1.50	1.50	1.50	1.50
会計年度任用(人)	3.95	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

560 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0187
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部産業廃棄物対策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	
		241.00	244.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	80.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
		92.76	95.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)現場確認箇所数 1出動あたり	箇所	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の所管は市である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	不法投棄を防止することで生活環境は保全されている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	早期発見に努めることで、早期解決を図れている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	不法投棄を防止することで循環型社会形成の推進に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	職員による監視パトロールの実施や地域住民の協力（不法投棄等監視員）を得て監視体制を継続することにより、廃棄物の不適正処理等の早期発見・早期解決に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	活動指標である職員によるパトロールは、計画的に実施することにより目標を達成することができ、成果指標である市民からの通報案件に対する解決率も、令和5年度から目標値を引き上げたうえで達成した。引き続き、廃棄物の不適正処理事業の早期発見、早期解決を目指し有効な対策を講じていく。		

事務事業評価シート（1/2）

562 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0188
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01148

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 環境交流館管理運営事業

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	032	環境交流館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条例					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。なお、平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民の意識の高揚を図るとともに、地域のコミュニティの活性化を図る場が求められている。この施設は、令和7年度をもって、新たな市民センターの改築に合わせて集約化されることとなった。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,491	10,370	11,524	15,572	60,002	0	0
事業費	3,201	1,622	2,698	6,746	53,606	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	47,500	0	0
その他	1	1	3	3	0	0	0
一般財源	3,200	1,621	2,695	6,743	6,106	0	0
人件費計	7,290	8,748	8,826	8,826	6,396	0	0
事務・技術(人)	0.10	0.26	0.27	0.27	0.82	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.10	2.10	2.10	2.10	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

563 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0188
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)開設日数	日	299.00	296.00	297.00	300.00	296.00	300.00	297.00
		295.00	299.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00	0.00
		9,367.00	10,625.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進が図れている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	地域に認識され、利用者数は目標値を大きく超えている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率的な施設管理及び修繕に努めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図る。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物の減量化と循環型社会の啓発及び地域コミュニティの場として活発な利用が図られるよう、引き続き館内のポスター掲示やHP掲載等による周知を図っていく。 利用者数については、地域外からの利用者の増加に伴うものと評価している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、多くの市民に利用してもらえるよう適切な運営に努めており、利用者のニーズに応えた開設を行い、来館者数の目標値を上回ることができたものである。現時点の計画では、令和7年度をもって、市民センター改築に合わせて機能移転を行うものとしているが、混乱なく円滑に移行できよう適切な運営管理、他の機関との連携を図るものとする。		

事務事業評価シート（1/2）

565 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0189
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01164

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	011	地区環境整備事業（北部クリーンセンター）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	北部クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	66,315	60,258	63,370	60,211	60,179	60,179	60,179
事業費	44,456	34,885	37,887	34,728	34,728	34,728	34,728
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	44,456	34,885	37,887	34,728	34,728	34,728	34,728
人件費計	21,859	25,373	25,483	25,483	25,451	25,451	25,451
事務・技術(人)	2.75	3.20	3.21	3.21	3.21	3.21	3.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

566 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0189
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01164 地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 事業補助数	件	31.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		32.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.29	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和5年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据えて、補助制度を中心とした地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得ながら、市内一円の廃棄物処理行政を進展させる。		

事務事業評価シート（1/2）

568 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0190
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01165

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（環境美化センター）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	012	地区環境整備事業（環境美化センター）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	47,119	46,906	50,582	55,956	55,924	55,924	55,924
事業費	36,102	34,013	37,579	42,953	42,953	42,953	42,953
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	36,102	34,013	37,579	42,953	42,953	42,953	42,953
人件費計	11,017	12,893	13,003	13,003	12,971	12,971	12,971
事務・技術(人)	1.36	1.60	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

569 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0190
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01165 地区環境整備事業（環境美化センター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-04-00	地区環境整備事業費（環境美化センター）	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動)事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)事業効率化指数	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		1.00	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。令和5年度については、計画どおり補助事業が実施されたが、予定していた事業とは異なる事業を実施したため、事業効率化指数が1.00を下回った。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据えて、補助制度を中心とした地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得ながら、市内一円の廃棄物処理行政を進展させる。		

事務事業評価シート（1/2）

571 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0191
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01166
 進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	013	地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,075	6,785	8,840	8,167	8,135	8,135	8,135
事業費	9,184	4,266	6,289	5,616	5,616	5,616	5,616
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	1	1
一般財源	9,183	4,265	6,288	5,615	5,615	5,615	5,615
人件費計	1,891	2,519	2,551	2,551	2,519	2,519	2,519
事務・技術(人)	0.19	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

572 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0191
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01166 地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 事業補助数	件	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		0.64	0.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺住民から理解が得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和5年度については、地元との合意の上、一部実施事業を見送ったため、事業効率化指数は計画値を下回っている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据えて、補助制度を中心とした地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得ながら、市内一円の廃棄物処理行政を進展させる。		

事務事業評価シート（1/2）

574 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0192
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01169
 進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	015	地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大田廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曾束町自治会、小田原町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	36,143	41,457	44,367	83,046	85,120	91,620	128,720
事業費	12,334	18,190	20,990	59,669	59,669	66,169	103,269
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,334	18,190	20,990	59,669	59,669	66,169	103,269
人件費計	23,809	23,267	23,377	23,377	25,451	25,451	25,451
事務・技術(人)	3.00	2.93	2.94	2.94	3.21	3.21	3.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

575 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0192
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-09-00	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 事業補助数	件	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	
(成果) 事業効率化指数	—	11.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		0.85	1.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和5年度については、計画を上回って補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値より高くなっている。また、当該事業については、職員措置請求の対象とされたことから、更なる事業の適正な執行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据えて、補助制度を中心とした地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得ながら、市内一円の廃棄物処理行政を進展させる。なお、本事業の推進について職員措置請求が行われたことを踏まえ、更に適正な事業執行に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

577 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0193
 評価年度 令和 5年度
 所属 1707
 事務事業番号 01170

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（衛生プラント）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	016	地区環境整備事業（衛生プラント）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市で排出されるし尿を適正に収集し、処分することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図っている。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小松学区自治連合会、田上学区自治連合会、堂町自治会、白百合自治会の市民を対象として
目的(何のために)	衛生プラントの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,689	3,656	3,656	3,656	3,656	3,656	3,656
事業費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	1,189	2,156	2,156	2,156	2,156	2,156	2,156
事務・技術(人)	0.10	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

578 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0193
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01170 地区環境整備事業（衛生プラント）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費（衛生プラント）	環境部環境施設課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 事業補助数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和3年度末で操業を終了している。それに伴い補助事業についても令和3年度末をもって終了しており、現在、当該施設の跡地利用について地元と協議を進めている。また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加の伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、令和4年度から地区環境整備事業を実施している。なお、令和5年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設の集約化を目的に、南部衛生プラントは令和3年度をもって操業を終了するとともに、これに伴う関連事業も終えたところであり、プラント施設を解体除却した後の有益な利活用を検討し、地域との協議を進めるものとする。 志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対しては、し尿処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据えて、振興補助を通じて地域住民の満足度を高める取組を支援し、地域のさらなる理解を得ながら、市内一円のし尿処理行政を進展させる。		

事務事業評価シート（1/2）

580 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0194
 評価年度 令和 5年度
 所属 1702
 事務事業番号 01175

進捗区分 評価完了
 環境部環境美化センター
 環境美化センター管理運営事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 清水 一義

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	017	環境美化センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>20年間に及ぶ運営委託契約を踏まえ、特別目的会社による環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が適切に発揮され、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>ごみ処理事業は市民生活と直結しているため、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>DBO方式（公共が資金調達し、民間事業者に設計・施工・運営を一括して委託する方式）で整備を進めてきたごみ処理施設整備事業は令和5年3月に全ての施設が完成した。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ、大型ごみほか及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみ、大型ごみを
目的(何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、大津市南部区域から発生する一般廃棄物の適正な処理を図る

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	363,370	357,954	365,233	358,581	361,956	369,413	370,535
事業費	341,856	337,774	352,073	345,421	347,236	354,693	355,815
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	288,616	289,408	294,600	294,600	294,600	294,600	294,600
一般財源	53,240	48,366	57,473	50,821	52,636	60,093	61,215
人件費計	21,514	20,180	13,160	13,160	14,720	14,720	14,720
事務・技術(人)	2.48	2.30	1.40	1.40	1.60	1.60	1.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

581 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0194
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01175 環境美化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	環境美化センター管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 焼却施設稼働率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		97.81	100.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) ごみ発電による電力使用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		97.53	96.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 資源ごみの処分率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		99.61	100.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			A
		B	ほぼ妥当である			
C	あまり妥当ではない					
D	妥当ではない					
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。				
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			A
		B	やや上がっている			
C	あまり上がっていない					
D	上がっていない					
	評価理由	計画どおり適正に安定してごみ処理及び再資源化を図っている。				
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A	効率的である			A
		B	やや効率的である			
C	あまり効率的でない					
D	効率的でない					
	評価理由	特別目的会社の管理運営により効率よく安定した操業ができた。				
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			A
		B	やや貢献している			
C	あまり貢献していない					
D	貢献していない					
	評価理由	円滑なごみ処理を継続することで、ごみの適正処理に貢献した。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境美化センターは、市民生活の維持に必要な不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和5年度については、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設並びにリサイクル施設とも安全かつ安定した操業が図れた。焼却施設は当初計画していた補修工程より早く完了したことから、前倒しで施設稼働できた。両施設の電力についても概ね発電した電力で賄ったが、当センターと北部クリーンセンターの2施設間で自己託送制度を活用できるよう努める。なお、令和7年度以降の計画額のうち、ごみ処理施設管理運営業務に係る経費については物価変動を勘案し決定するものである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標としてきたが、施設の実稼働率からも明らかのように1年間の業務成果としては適正であったと評価している。また、ごみ焼却時に伴う熱を利用した電力は、構内設備の動力として利用するとともに、余剰分を売電し、財政負担の削減に効果をもたらしている。今後も、運営業務の履行状況の評価するためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うほか、啓発施設の活用と施設見学者への対応を通じて、処理施設だから担えるごみの減量や資源再利用意識の普及啓発を推進する。		

事務事業評価シート（1/2）

583 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0195
 評価年度 令和 5年度
 所属 1702
 事務事業番号 01176

進捗区分 評価完了
 環境部環境美化センター
 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	018	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き処分地の廃止に向け、水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 (見直しや改善等の経過) 浸出水処理施設の適宜整備補修を行い維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水(汚水)を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,464	18,671	20,405	20,229	20,229	20,229	20,229
事業費	9,684	12,601	14,905	14,729	14,729	14,729	14,729
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,684	12,601	14,905	14,729	14,729	14,729	14,729
人件費計	6,780	6,070	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
事務・技術(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

584 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0195
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動)水質検査回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)水質基準値遵守率(COD・南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)水質基準値遵守率(COD・第二南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	放流水及び浸出水の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適正な維持管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	南部不燃物処分地におけるガス発生状況、水質の変化（推移）を把握しながら、適切な維持管理を続けるとともに、施設の廃止を見据えて、課題と必要な対策について協議する。		

事務事業評価シート（1/2）

586 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0196
評価年度 令和 5年度
所属 1702
事務事業番号 01177

進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
大田廃棄物最終処分場管理事業

所属長名 原田 浩二
記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	019	大田廃棄物最終処分場管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>環境美化センターからの焼却灰、リサイクル施設からの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>埋立搬入物や浸出水並びに処理水の水質など法律で定める基準はもとより、地元との協定を遵守し適正処理を行っている。また、定期的に地元に対して結果の報告を行っている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成27年7月より、浸出水の処理は第2期水処理施設を主にした運転に切り替えることで費用の縮減を図っている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
目的(何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分し、良好な水環境を保つため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	85,560	82,971	87,429	107,897	107,897	107,897	107,897
事業費	67,280	68,691	73,359	93,827	93,827	93,827	93,827
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	251	207	290	290	290	290	290
一般財源	67,029	68,484	73,069	93,537	93,537	93,537	93,537
人件費計	18,280	14,280	14,070	14,070	14,070	14,070	14,070
事務・技術(人)	1.00	1.00	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.60	0.80	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
会計年度任用(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

587 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0196
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
(成果)水質基準値遵守率(COD)	%	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	適正に埋立処分し、排水（放流水）は環境保全協定値を満足する。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	民間事業者の運転管理により効率よく安定した操業ができた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	効率的に安定処理の向上が図れている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	埋立地（第1期、第2期）について、引き続き維持管理基準に基づき埋立処分を行う。また、汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に従い、適正な運営管理を続けるとともに、浸出水の水質（推移）を把握しながら、必要に応じて、課題の把握と有効な対策について協議を行うものとする。		

事務事業評価シート（1/2）

589 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0197
 評価年度 令和 5年度
 所属 1702
 事務事業番号 02217

進捗区分 評価完了
 環境部環境美化センター
 中町淀町最終処分場管理運営事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 浜崎 亨

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	025	中町淀町最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。 また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の環境美化に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 大石中町廃棄物最終処分場は平成10年度末、大石淀町廃棄物最終処分場は平成25年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用として大石淀グラウンドゴルフ場整備事業が進められた。 (見直しや改善等の経過) 大石中町廃棄物最終処分場については、埋立終了後、年月が経過しており、処理施設に流入する浸出水の水質が改善され良好な状態となっていることから、平成28年度より簡易処理に移行している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	60,547	56,749	63,663	69,941	69,941	69,941	69,941
事業費	55,729	52,273	59,187	65,465	65,465	65,465	65,465
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	55,729	52,273	59,187	65,465	65,465	65,465	65,465
人件費計	4,818	4,476	4,476	4,476	4,476	4,476	4,476
事務・技術(人)	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（1/2）

592 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0198
 評価年度 令和 5年度
 所属 1708
 事務事業番号 01180

進捗区分 評価完了
 環境部北部クリーンセンター
 北部クリーンセンター管理運営事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 中野 高佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	021	北部クリーンセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法				
事業概要	(事業概要) 琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみについて民間事業者（SPC）が運営する大津市北部クリーンセンター焼却施設・リサイクル施設に対して、それらの履行状況を確認するため、定期及び随時モニタリング等の適正な運営管理上の指導監督を行うとともに、大津市が直接運営する市内全域のプラスチック製容器包装類の受入を行う同容器資源化施設の管理を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。 (見直しや改善等の経過) 民間事業者による運営管理を行っている新施設は、ごみ焼却時に発生する熱利用による発電を行い、これを売却することにより、事業者への委託費用を低減できる仕組みになっている。しかし、当施設に搬入されるごみが計画数量を大幅に下回っているのが現状であり、年度末に委託費を増額せざるを得なくなっている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される一般廃棄物及び事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設、リサイクル施設及びプラスチック容器資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し、
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、琵琶湖疏水以北で発生する一般廃棄物の適正な処理を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	461,069	511,607	495,358	504,442	525,509	525,089	525,482
事業費	445,962	497,957	480,062	489,146	510,213	509,793	510,186
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	164,493	167,966	216,735	282,885	282,885	282,885	282,885
一般財源	281,469	329,991	263,327	206,261	227,328	226,908	227,301
人件費計	15,107	13,650	15,296	15,296	15,296	15,296	15,296
事務・技術(人)	1.75	1.75	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.47	0.00	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

593 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0198
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動) ごみ焼却量	トン	39,387.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		34,825.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 資源ごみの搬入	トン	3,257.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		3,051.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物関連の法律を遵守し、一般廃棄物を適正に処理できている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	計画通りごみ処理をし、排ガス等の規制基準はすべて遵守している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	施設の運営は技術力を有する民間の専門業者に委託し効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	施設の安定稼働により持続可能な社会づくりに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	北部クリーンセンターは、中間処理施設として民間事業者による運営のもと安全かつ安定した操業を図る。また、市として施設の運営業務の履行状況の確認をするためモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が発揮され、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理と資源化が図れるよう運営管理上の指導監督を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標としてきたが、施設の実稼働率からも明らかなように1年間の業務成果としては適正であったと評価している。また、ごみ焼却時に伴う熱を利用した電力は、構内設備の動力として利用するとともに、余剰分を売電し、財政負担の削減に効果をもたらしているが、ごみ焼却量の減少に伴う効果額の縮小を課題として認識している。今後も、運営業務の履行状況の評価のためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うものとする。		

事務事業評価シート（1/2）

595 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0199
 評価年度 令和 5年度
 所属 1708
 事務事業番号 01181

進捗区分 評価完了
 環境部北部クリーンセンター
 北部廃棄物最終処分場管理運営事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 川村 与志治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	022	北部廃棄物最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法					
事業概要	(事業概要) 北部クリーンセンターから排出される焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 今日までの「ごみ減量施策」の実施により、ごみ量は減少してきているが、埋立残余年数も短くなってきていることから、さらなる延命化が求められる。 (見直しや改善等の経過) 令和元年からの土堰堤工事築造について、高さを変更（2.5m→1.25m）し、ごみの埋立枠を増加させ、処分場が延命できるよう見直し、少ない経費で最大限の効力を発揮できるよう改善した。 令和5年度からは、フェニックスへの搬出量を1,500tから3,000tに見直したところである。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、②水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	65,786	58,890	59,218	59,861	59,861	59,861	59,861
事業費	44,880	37,808	38,448	39,091	39,091	39,091	39,091
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	341	339	194	210	210	210	210
一般財源	44,539	37,469	38,254	38,881	38,881	38,881	38,881
人件費計	20,906	21,082	20,770	20,770	20,770	20,770	20,770
事務・技術(人)	1.25	1.25	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

596 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0199
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 01181 北部廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	m ³	5,400.00	3,000.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	3,800.00	3,800.00
		4,154.00	1,490.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 放流水の下水道排除基準遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 放流水のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	一般廃棄物を適正に処理することは、市町村の責務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	廃棄物を計画的に埋立処分し、放流水も排出基準を満足している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域の環境保全に万全を期しながら効率的な管理運営に努めている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	廃棄物を計画的に埋立処分し、ごみの適正処理に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物処理法に基づく維持管理基準を遵守するとともに、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう適切な水質検査を徹底する。合わせて大阪湾フェニックス埋立処分地への搬入量を増やすことにより、引き続き当処分場の延命化を図っていくものとする。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	残容量を見据えながら土壌堤の築造を計画的に行い、適正かつ効率的な処分場の運営管理を続けるとともに、公共下水道の排水基準を遵守できるよう、通年的に浸出水処理施設の運転管理を適正に行いました。この結果、年間の埋立量は計画値を下回り、放流水の排水基準値にも適合させることができたものと評価しています。		

事務事業評価シート（1/2）

598 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0200
 評価年度 令和 5年度
 所属 1708
 事務事業番号 02622

進捗区分 評価完了
 環境部北部クリーンセンター
 美化清掃事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 森本 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	027	美化清掃事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例				
事業概要	(事業概要) 自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自治会等による美化活動の実施に伴う環境保全意識の向上や、道路上の動物死体等発見時の迅速な通報など、市内の美観保持を行うための市民意識の高まりがある。 (見直しや改善等の経過) 職員自らが主体的に担ってきたごみ収集業務について外部委託化を進めてきた一方で、地域の美化活動のほか、地域におけるごみをめぐる課題についてきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	44,310	47,262	49,576	50,473	50,473	50,473	50,473
事業費	11,089	12,992	15,327	16,224	16,224	16,224	16,224
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	653	612	702	702	702	702	702
一般財源	10,436	12,380	14,625	15,522	15,522	15,522	15,522
人件費計	33,221	34,270	34,249	34,249	34,249	34,249	34,249
事務・技術(人)	0.17	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	3.75	3.24	3.58	3.58	3.58	3.58	3.58
再任用(人)	1.08	1.50	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
会計年度任用(人)	0.44	0.44	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

599 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0200
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 02622 美化清掃事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	
		163.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	
		868.00	973.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活環境の美化や公衆衛生の保全の観点から、これまで創意工夫を行いながら事業に取り組んできた。動物死体の収集依頼等については連絡を受けた当日に対応を行い、地域住民が積極的に美化活動を行い集積されるごみの収集に対しては、できるだけ希望日に対応してきた。結果として指標に定める目標値(収集量・数)に対する実績値には達していないものの、収集応需率は100%と対応はできている。今後は、ごみの収集量や動物死体の収集数の推移や情報を分析し、事業効果が向上する取組を模索するとともに、なるべく環境整備員の退職などによる事業の委託化なども検討しながら、市民サービスの低下がないよう当該事業を維持継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を目的に、職員による通年の収集体制を整え、市民からの要請に応じて公共空間を良好な状態に保つことができた。美化活動に伴う収集量及び動物死体の収集等は、案件の発生により変動するが、すべての要請に対応できており、このことも含め、収集応需率を100%として評価している。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0201
 評価年度 令和 5年度
 所属 1708
 事務事業番号 04191

進捗区分 評価完了
 環境部北部クリーンセンター
 資源物等適正処理事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 森本 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	003	資源物等適正処理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・施行規則					
事業概要	市内から排出される一般廃棄物を中間処理施設等において資源化等を実施することにより、適正な処理に資するものとする。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) ペットボトルの水平リサイクルの実証実験として、令和5年度より指定法人ルートの再生事業者から独自処理の再生事業者への変更を一部の施設で行い、引渡しをはじめた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	中間処理施設に搬入される一般廃棄物を
目的(何のために)	リサイクルを推進する循環型社会への転換を図るために
手段(どのようなやり方で)	民間事業者等への委託等により
成果(どのような状態にするのか)	個々の廃棄物に応じた効率的で確実な処理体制が確保される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,579	21,609	18,047	20,902	20,902	20,902	20,902
事業費	7,870	10,279	9,291	12,146	12,146	12,146	12,146
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,870	10,279	9,291	12,146	12,146	12,146	12,146
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	10,709	11,330	8,756	8,756	8,756	8,756	8,756
事務・技術(人)	0.17	0.58	0.58	0.58	0.58	0.58	0.58
技能労務(人)	0.83	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
再任用(人)	0.58	0.33	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
会計年度任用(人)	0.22	0.22	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

602 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0201
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-03-00	資源物等適正処理事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)再商品化引渡数量	Kg	2,490,000.00	2,145,636.00	2,145,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00
		2,277,790.00	2,059,322.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)独自処理の再生事業者によるペットボトル再商品化数量	Kg	0.00	344,364.00	344,364.00	704,364.00	704,364.00	704,364.00	704,364.00
		0.00	320,360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)プラスチック製容器包装ペットボトルペール品質検査結果	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
C あまり妥当ではない			
D 妥当ではない			
評価理由	各種リサイクル法を厳守し、一般廃棄物を適正に処理している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
C あまり上がっていない			
D 上がっていない			
評価理由	再資源化が適正になされている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
C あまり効率的でない			
D 効率的でない			
評価理由	再商品化ルートの一部見直しにより収入の向上も図れている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
C あまり貢献していない			
D 貢献していない			
評価理由	リサイクルすることにより、資源物等の適正処理が行えている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市中間処理施設等に搬入されている一般廃棄物は適正な形で処理ができている。今般各種リサイクル法の適正な運用方針の中に、3R政策の積極的な推進、家電などを含めた個別リサイクル法の適正な執行・普及啓発、プラスチック資源循環の重要性の高まりを受けたプラスチック資源循環促進法の施行にともなう、資源循環の取組推進が示されている。これをもとに、今後本市中間処理施設における資源物等の処理は、社会を取り巻く環境や関係法令の整備等も含め総合的に判断し、時代の流れに合致した、より適正な処理を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民生活において生じる廃棄物のうち、市のごみ処理施設での処理が難しいものや法律の定めにより再商品化等を推進するものについては、概ね計画量に従い適正な処理に導くことができたものと評価している。一方で、現行の法制度では、製造者等による回収・再商品化の取組みが十分ではないものがあること等を踏まえ、地域の安全や適正な廃棄物処理を補うための取組みの実施にあたっては、地域の関係者の意見を聴くとともに市民理解を得ながら、適切に進める必要がある。		

事務事業評価シート（1/2）

604 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0202
 評価年度 令和 5年度
 所属 1711
 事務事業番号 01024

進捗区分 評価完了
 所属長名 野口 渡
 記入者 野口 渡

環境部衛生プラント
 衛生処理場運転管理事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	005	衛生処理場運転管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	下水道の普及に伴い、市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の量は減少傾向にあるものの、生活排水処理基本計画における予測値（目標値）に対して実績値が上回っており、見込みほどし尿等の発生量が減少していない状況にあることから、施設の安全かつ安定した運転は必須であり、引き続き維持されなければならない。このことから、令和4年度に衛生プラント長寿命化総合計画を策定し、主要機器の更新や故障を未然に防ぐ予防整備を計画的に行うこととした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持が確保できている。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	270,762	221,429	228,663	247,225	247,225	247,225	247,225
事業費	256,334	206,913	214,147	232,709	232,709	232,709	232,709
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	256,334	206,913	214,147	232,709	232,709	232,709	232,709
人件費計	14,428	14,516	14,516	14,516	14,516	14,516	14,516
事務・技術(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0202
 評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
 所属 1711 環境部衛生プラント
 事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（1日当り）	k l /日	30.30	28.87	27.47	26.10	24.75	23.45	22.16
		31.73	30.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)汚泥焼却灰処分量	t /年	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		11.00	9.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（BOD）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（T-N）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市町村の責務であるため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	環境負荷の低減に寄与した		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	運転管理等を委託にて実施し、コストの縮減を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持に貢献した		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市全体のし尿及び浄化槽汚泥の発生量は減少傾向にあるものの、見込みを超えて依然高止まりしている。また、南部衛生プラントの廃止に伴い、志賀及び北部衛生プラントのし尿等の処理量は増加しており、施設の重要度は増している。このことから、施設の維持管理を適切に行うため、令和4年度に策定した大津市衛生プラント長寿命化総合計画を確実に実行するとともに、今後も引き続き運転管理を適切に行うことにより、安全かつ安定した運転、処理を可能とするよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設からの放流水の水質は自ら設定している基準値を満足し、適正な運営管理を保つことができた。一方で、市内のし尿・浄化槽汚泥の発生量は減少基調にあるものの、搬入量の水準は目標値を上回っており、引き続き、現有のし尿処理施設の操業が欠かせないことは明らかである。ついで、施設の老朽化が進んでいることを踏まえ、令和4年度に策定した長寿命化総合計画を計画的に推進し、し尿処理をめぐる生活環境の保全と公衆衛生の保持に努める。		

